



杉谷洋一議員

巡回・路線バスの運営方針は

町長 前向きに検討したい

問 市場原理でなく住民の立場に立った公共交通施策が必要である。
①路線バスは一部改善されているが、佐摩・米子便の直通の増便はできないか。

- ②路線バス乗車向上対策をどう進めるか。
- ③住民や専門家を含めた巡回バス・路線バスの交通対策審議会を設置すべきでは。

答 (森田町長)
①上下線のうち一便が直行便である。増便するには米子市や日吉津村との協議が必要である。
路線バスの赤字は、沿線自治体の距離に応じて負担することになってい



住民の立場に立った交通施策を

る。今後の乗車率を見ながら米子市や日吉津村に負担をお願いできるか協議したい。
②公共交通の必要性を広報し、地域住民の積極的な利用をお願いしたい。
③巡回バスや路線バス、この路線以外に住む高齢者や病院へ通院する人を含めた交通手段の確保が必要である。
現状や課題を関係機関や住民と一緒に検討し、検証・検討する審議会を立ち上げる中で、住民の立場に立って、思いも含めて進めていきたい。

学力テストの調査結果は

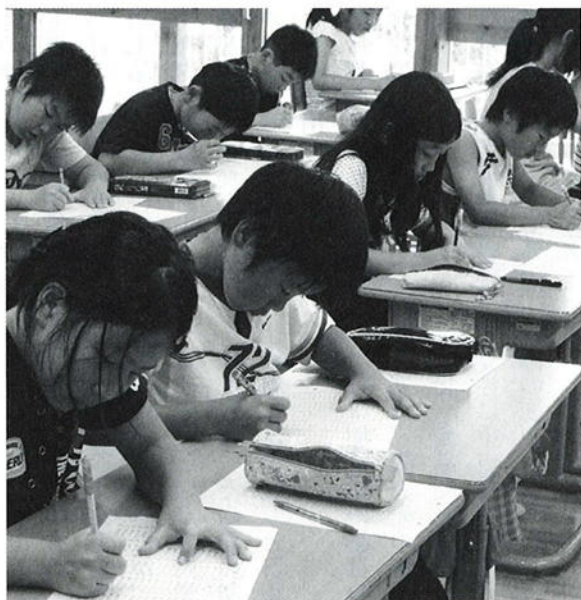
教育委員長

教育指導・教職員研修に生かしている

問 ①調査結果をどのように生かしているか。
②開示はどのようにしているか。

答 (伊澤教育委員長)

①本年度のテストは4月21日に行ったが、結果はまだ出ていないので昨年度の説明をする。
「国語と算数・数学の平均正解率」、「正答・誤答の傾向」、「生活実態や学習への意欲」などの調査結果があり、町全体のものを示している。この結果をもとに、教科・生活実態の意欲・学力と生活の意欲など独自に分析



この集中力…

している。

本町全体の傾向や課題を整理し、教育行政における施策に反映させ、各学校ではさらに分析し、教育指導や教職員の研修に生かしている。
②調査結果については、町全体のもは町民全体に教育委員会が公表した。広報「だいせん」には2か月以内にわたり概要を掲載した。町ホームページには詳細を公表している。

学校ごとのものは保護者等に対して各学校が公表するようにしている。

昨年学校別の結果公表について県レベルで大きな議論となった。本町は町情報公開条例に基づいて、情報公開の請求があった場合でも、学校別の結果は公表しないことにしている。国との約束事項として必要性はないものと判断している。
この結果をもとに学力向上のために基本的な生活習慣が大切であることに着目し、ノーテレビデーを設定するなど各家庭に向け独自の取組みを行っている。

このほかに、大山診療所問題について質問した